



HITACHI
Inspire the Next

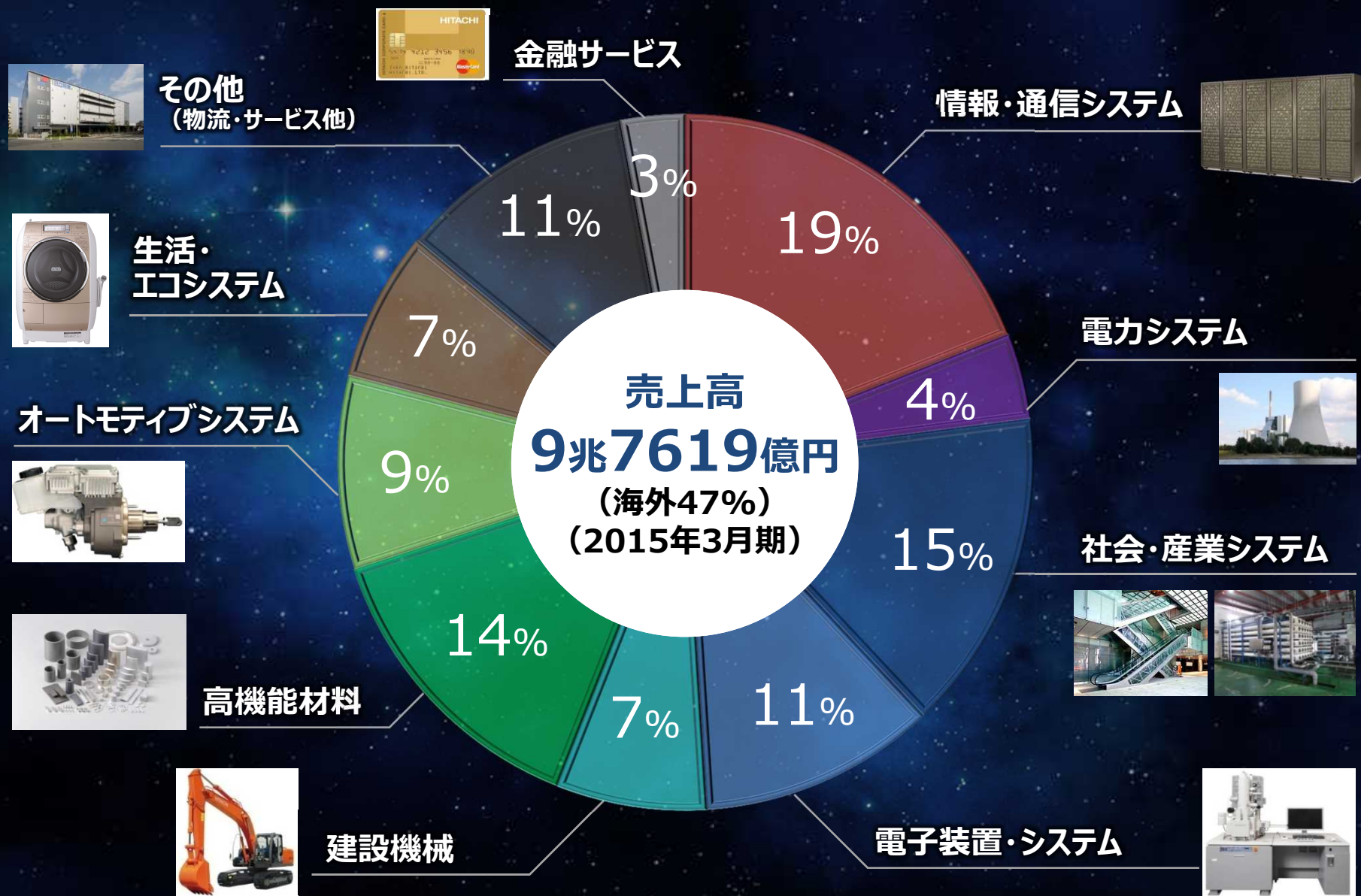
資料3 - 5

中央教育審議会大学分科会大学院部会
専門職大学院ワーキンググループ
(第3回) H28.2.15

日立に必要な人財とは

株式会社 日立製作所

日立グループ売上高





エネルギー



まちづくり



交通



ヘルスケア

社会イノベーション事業で世界に伝える日立へ

SOCIAL INNOVATION – IT'S OUR FUTURE

「社会イノベーション事業」「グローバル」



水・資源



ロジスティクス



製造・建設



金融・公共

採用状況

Recruiting

日立製作所における大学・高専卒採用数推移（過去5年間）

	2011	2012	2013	2014	2015 [※]
日立製作所単体 (カッコ内数値は事務系)	750 (150)	750 (150)	600 (100)	600 (100)	600 (100)
うち外国人	31	35	44	68	62
外国人比率	4%	5%	7%	11%	10%

選考・配属

技術系

ジョブマッチング
9割修士・1割博士
自分の専門性と
募集部門の
マッチング

事務系

選考・配属一括（内定時職種の約束はしない）
修士1割（特にKPIなし）
公共政策、法科、会計からの応募は少ないもののあり。
専門性のある学生も含め約8割は営業希望
語学力の高い学生が多い

法務

採用

昔に比べれば、専門性を見るようになってきてはいるが、専門性だけでなく、**専門性+経営視点**が求められる。学部卒でも、本人のやる気次第で2年で十分に伸びる。経験者では、即戦力を期待して弁護士資格保持者を採用することはある。

教育

国内のロースクールに社員を行かせたケースはなし。国内ロースクールは裁判実務に関することが多く、企業法務に関するものが望ましい。一方で**アメリカのロースクールは1年でアメリカの司法を学べるプログラム**があり定期的に人を出している。**MBA**に出したケースもあり。**語学力・グローバル対応力**は非常に求められる。

企業法務の理解とカリキュラムへの反映・グローバル対応力

財務

採用

昔に比べれば、専門性を見るようになってきてはいるが、専門性だけではなく、専門性+経営視点が必要。**「財務部長ではなく、CFOが必要」**
一方で海外大卒（日本人）ではファイナンスを専攻している学生も増えている。
経験者では、即戦力を期待して税理士・公認会計士資格保持者を採用することはある。
海外赴任先で人事業務を兼務することもあるため**幅広く仕事を引き受ける力**必要。

教育

社内の職能教育と**FASS検定（社外）**の組み合わせで教育しているためとくに社外の教育機関へのニーズはなし。**MBAに関心あり**。
経理財務も**語学力**は非常に大事（海外赴任多い）。

専門知識+幅広い関心+経営視点、グローバル対応力

知的財産

採用

技術的知識が必要なため、少なくとも**理系修士以上**を採用。
T型人財、深い専門性は一つありながら、技術系素養は幅広く持っていることが求められる。法律知識は会社に入ってからで構わない。
経験者採用においては弁理士資格保持者の実績はあるが、資格ありきではない。

教育

MOT、MBA、ロースクールともに社員に行かせたい。MBA・ロースクールは海外派遣している。社員にも米国弁理士資格に関心があるものも一定数いる。
語学力は非常に大事（海外赴任多い）。

専門知識＋幅広い技術素養＋経営視点、グローバル対応力

各分野での人財ニーズや人財育成

MOT・MBA

MOT

会社としてMOTに関する社員サポートは特になし。社内研修で技術経営的な内容のものもあり。

技術者サポートのメインは博士号取得支援。支援が受けられなくても個人的に勉強している社員も多い。

知的財産部門などが講師として関わるケースが多い。

MBA

法務、財務、知的財産も含め、多くの部門から関心が持たれている分野

日立グループとして社員に対して毎年海外のMBA取得を支援

経営に関する学びのほか、ネットワーク作り、海外対応力が身につくことが魅力

新卒一括採用・終身雇用など日本独自の就業環境

まとめ ※当社+数社ヒアリングから

大手企業は基本的には**終身雇用前提の採用・教育体系**になっており、一度就職すると社会に出てきにくい。**会社で育てる意識が強い**。
従来より専門性を見るものの、まだまだ体育会系など人気。
文系は学部卒が多いし、企業が学歴に重きを置いていないが、入社後育てる意識は強いので、**各種専門職種・MBA・グローバル対応力**などに教育熱がある。**理系は博士号取得支援に積極的（製造業）**。

アメリカなど、転職が当たり前、社会人になってから修士・博士取得が当たり前の環境には専門職大学院の仕組みは馴染むのではないか。

専門知識+人間性+グローバル対応力⇔就業環境

HITACHI
Inspire the Next